いけだ 市議会だより

令和8年（2026年）11月1日
IKEDA City Council News
No. 201

目 次 Contents

主な審議内容 …… 2
委員会レポート …… 2・3
議決結果 …… 4
会議録の検索等について … 5
本会議のライブ中継等のご案内 … 5
一般質問 …… 6～11
市議会だよりができるまで … 11
議会日誌 …… 12
議会の予定 …… 12
やまばと …… 12

池田市議会本会議の
ライブ中継を
行っております！

池田市議会　ライブ中継

撮影者　撮影マイスター倶楽部　清水　潤三さん
撮影場所　池田城跡公園

主な審議内容　9月定例会

9月定例会は、9月3日に開会し、市長から提出された報告案件1件と議案13件、並びに人事案件2件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、9月24日・25日の継続会では、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決した後、市民の声を広く市政に反映されるため、16人の議員が一般質問を行い、9月定例会を閉会しました。

なお、令和7年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算議案8件については、議会閉会中の常任委員会に審査付託しました。

はしご付消防自動車を豊中市と共同運用するための負担金を含む補正予算を可決

今回提出された一般会計補正予算案には、豊中市とのはしご付消防自動車（はしご車）の共同運用に必要な費用が計上されました。

本市では当初、令和10年４月１日から共同運用を開始する予定でしたが、現在のはしご車に不具合が生じ、修理部品の調達も困難となったことから、予定を前倒しし、令和８年10月１日から共同運用を開始することとなりました。

共同運用では、豊中市が所有するはしご車を使用し、池田市内で中高層建物の火災や救助活動などが発生した場合には、豊中市のはしご車が出場します。

本市は車両の維持管理など共同運用に係る経費のうち豊中市との財政規模による負担割合に応じ、２割を負担するため、年間約500万円必要となりますが、今回の補正予算には10月からの半年分として約250万円が計上されました。

また、本市と豊中市を含む北摂５市では、令和６年４月から北大阪消防指令センターを共同運用しております。今回のはしご車の共同運用も消防分野における広域連携をさらに進め、消防力を確保しながら、はしご車の整備・維持管理に係る費用の削減を図るものです。

審議の中では、共同運用による財政効果や両市で同時に中高層建物火災が発生した場合の対応などについても質疑が交わされましたが、これらの費用を含む一般会計補正予算案は、全会一致で可決しました。

委員会レポート

総務委員会

防衛特別所得税の概要及び国税改正と本条例改正との関係は《市税条例の一部改正》

問 今回、本条例の改正案の一つに市民税関係の寄附金税額控除に係る提案があるが、その特例控除額の計算において、従来の復興特別所得税に加え、新たに防衛特別所得税を加味する内容が含まれている。これらの概要について問う。

また、国税に係る改正が、なぜ本条例の改正に関係するのか問う。

答 復興特別所得税等の概要については、まず、復興特別所得税は、東日本大震災からの復興財源確保を目的として創設されたもので、令和９年分以降の税率は２.１％から１.１％に引き下げられた一方、適用期間は令和19年までから令和29年までに延長された。

また、防衛特別所得税は、我が国の抜本的な防衛力強化のための財源確保を目的として新設されたもので、税率は１％、適用期間は令和９年分から当分の間とされている。

なお、復興特別所得税が１％下がる一方、防衛特別所得税が１％加わるため、令和29年分まで全体の税率は変わらず、市民負担に影響はないものと認識している。

国税の改正と本条例の改正との関係については、市税におけるふるさと納税の寄附金税額控除の特例控除額の算定において所得税等の税率を用いるため、今回の復興特別所得税等の税率変更に伴い、本条例を改正する必要が生じたものである。

文教病院委員会

学校運営協議会委員に係る報酬額見直しの目的は《池田市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正》

問 今回の提案は、学校運営協議会会長の報酬額の区分を廃止し、学校運営協議会委員の報酬額を一律日額３千円とするものである。

他の自治体における同委員の報酬額の水準を考慮したとのことだが、今回の見直しは、委員報酬に係る経費の削減が主な目的なのか、それとも、各校が必要に応じて学校運営協議会を開催できる環境を整え、議論を活性化することが主な目的なのか問う。

答 今回の報酬額の見直しは、単なる経費の削減を主な目的とするものではなく、今年度から学校運営協議会が市内の全校に設置され、報酬の支払対象となる委員が約100名となったことを踏まえ、学校と地域の協働基盤として、安定的かつ持続的に運営していくことを主な目的とするものである。

今後、学校運営協議会の開催回数の設定については、改めて検討していく必要があると考えている。

厚生委員会

日本版DBSの導入に伴う本市の性暴力防止に向けた今後の取組は《家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正》

問 今回の提案は、保育施設等における子どもへの性犯罪を防止することを目的としたいわゆる日本版DBSの導入に伴うものである。

採用時や現に勤務している職員の性犯罪歴の確認は重要であるが、それだけでは子どもの安全が完全に確保されるものではないと考える。

職員研修や相談・通報体制の整備など、性暴力防止に向けて本市としてどのような取組を進めていこうと考えているのか、問う。

答 こども性暴力防止法が施行されるのを踏まえ、児童の安全・安心を守る取組が重要であると認識している。

当該性犯罪歴の確認に加え、関係部局や関係機関と連携を密にし、制度の周知や研修の徹底、児童や保護者への虐待通報窓口の案内、事案発生時の迅速な対応に向けた体制の構築など、安全確保措置を着実に実施し、子どもを性暴力から守る環境づくりに取り組んでいきたいと考えている。

土木消防委員会

消防庁舎整備事業における緊急防災・減災事業債の対象範囲及び財源確保は《一般会計補正予算》

問 今回、消防庁舎整備事業の設計委託料として、期間を令和９年度とする限度額１億3,200万円の債務負担行為補正を計上している。

当該整備事業には、緊急防災・減災事業債の活用を予定しており、対象となる事業費の100％まで地方債を充当できるとのことであるが、消防庁舎の移転整備に要する事業費全体が対象となるのか。

それとも、施設の規模や機能などについて一定の要件があり、事業費の一部が対象外となる場合の経費についてどのように財源を確保するのか問う。

答 緊急防災・減災事業債は、対象となる事業費の100％まで地方債を充当することができ、その元利償還金の70％が後年度の地方交付税の算定上措置される、非常に手厚い制度である。

本制度の対象経費となるのは、移転前の延床面積の範囲までとされているほか、庁舎についても、消防署機能に係る部分が対象となる一方、本部機能に係る部分は対象外となるなど、一定の要件があり、事業費全体に活用できるものではない。

対象外となる経費についても、通常の地方債や、施設の集約化等により他の財政支援制度の活用を検討するとともに、基本設計において必要な施設規模を精査し、できる限り一般財源の負担軽減を図っていきたいと考えている。

議決結果

提出議案等 賛成:○　反対:×　退席:退 全員異議なし:(全)　賛成多数:(多) 議長は採決には加わりません。	議決結果	大阪維新の会池田					自民党保守の会				池田未来の会				公明党			未来はぐくむプロジェクト			日本共産党		無所属
		土田 麻衣	三宅 正起	安黒 善雄	古川 裕倫	笹村 有理子	小林 義典	浜地 慎一郎	沖本 純子	松本 康二郎	中田 正紀	西垣 智	坂上 昭栄	下窄 明	藤本 昌宏	多田 隆一	荒木 眞澄	園部 佳子	倉田 晃	名村 研二郎	山元 建	藤原 美知子	守屋 大道
〈 9月定例会 〉																							
令和７年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	報告案件のため議決不要																					
池田市個人番号の利用等及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市市税条例の一部改正について	原案可決(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び池田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市官民連携まちなか広場条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市立幼稚園型認定こども園条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市消防保安行政事務手数料条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産区管理委員の選任について	同意(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第１号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度池田市一般会計補正予算(第５号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度池田市病院事業会計決算の認定について	継続審査	議会閉会中の常任委員会に審査付託																					
令和７年度池田市水道事業会計決算の認定について	継続審査																						
令和７年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	継続審査																						
令和７年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																						
令和７年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																						
令和７年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																						
令和７年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																						
令和７年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査																						
池田市立幼稚園型認定こども園条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
細河地区の特性を活かした持続可能なまちづくり構想の策定ならびに、郷土産業の育成・誘致に伴う土地利用規制の緩和とインフラ整備に関する請願	採択(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○
災害への対応力の強化を求める意見書	採択(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会議録の検索等について

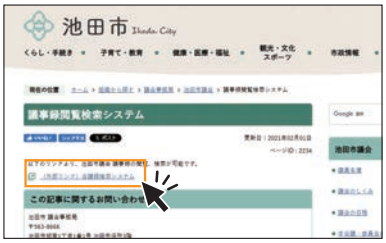
❶「池田市議会」を検索してください。



❷ 池田市議会ホームページ内の「議事録閲覧検索システム」をクリックしてください。



❸「(外部リンク) 会議録検索システム」をクリックしてください。



❹「検索」ボタンをクリックすると、収録されているすべての年の会議録から検索が可能です。



❺「閲覧」をクリックすると、年ごとの会議録が閲覧できます。



本会議当日、リアルタイムで本会議を閲覧することができる「ライブ中継」を実施しています。録画映像は、約２週間後から視聴することが可能です。

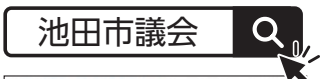
本会議のライブ中継等のご案内

本会議のライブ中継及び録画動画を専用サイトで配信しておりますので、パソコン及びスマートフォン等で、是非ご視聴ください。

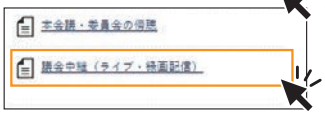
《視聴方法》

池田市議会ホームページから

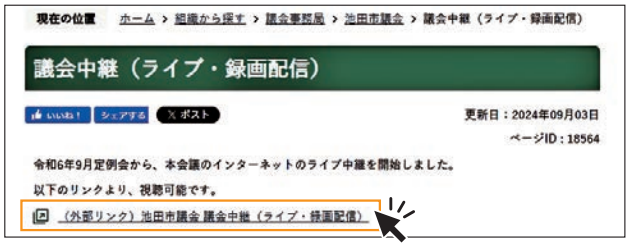
❶「池田市議会」を検索してください。



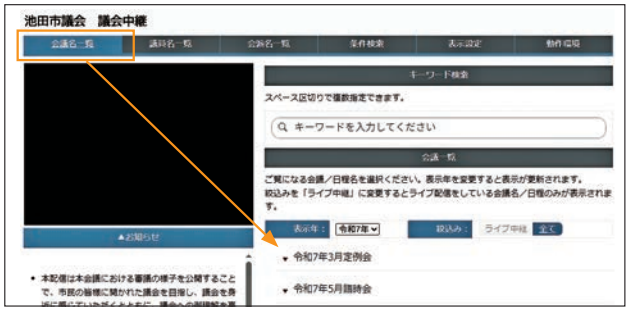
❷ 池田市議会ホームページ内の「議会中継（ライブ・録画配信）」をクリックしてください。



❸「(外部リンク) 池田市議会 議会中継（ライブ・録画配信）」をクリックしてください。



❹ ライブの再生ボタンまたは録画動画の会議をお選びください。※



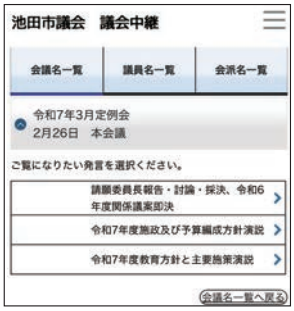
QRコードから

❶ こちらのQRコードからサイトを開いてください。

❷ ライブまたは録画動画の会議をお選びください。



❸ ご覧になりたい発言を選択してください。



❹ 再生ボタンを押してご視聴ください。※



※再生ボタンが表示されない会議は録画データ準備中です。会議終了後、約２週間後にアップ予定です。

一般質問

❶五月丘・渋谷で発生した土砂災害から豪雨への対応について
❷特定利用空港候補に対する住民説明と想定される訓練を問う



園部佳子（そのべけいこ）議員

未来はぐくむプロジェクト

問1 全国で豪雨災害が頻発し、五月丘・渋谷でも土砂災害が発生した。大雨が想定されるときや災害が発生したときの対応を問う。

答 気象庁の情報を中心に収集し、待機などの体制をとる。市内の災害情報は本市のパトロールや市民の情報提供、通報により把握し、池田土木事務所、警察、事業者などと連携・協力し、迅速に対応する。

問2 特定利用空港について、市民への説明は誰がどのように行うのか。万が一、指定された場合、想定される訓練は何か問う。

答 ７月７日に国から説明を受け、関係資料とともに市HPに掲載した。関係省庁の説明によると指定後の運用や訓練内容などは未定で明らかになっていないが、輸送機による国民保護のための訓練、戦闘機や輸送機の離着陸訓練、ハード整備では滑走路延長や自衛隊駐屯地までの道路整備などが想定される。制度の当事者である国または新関西国際空港㈱が責任を持って住民に説明をすべきであり、大阪国際空港周辺都市対策協議会として関係省庁に対し、申入れを行った。

❶学校における社会モデルの実現と専門職との協業について
❷部活動地域展開を機に考えたい中学生の放課後の過ごし方



土田麻衣（つちだまい）議員

大阪維新の会池田

問1 次期学習指導要領では、「社会モデル」、つまり困難は本人の要因だけによるものではなく、環境や制度、周囲との関係性の中にある障壁によって生み出されるものとして捉える視点が重要となる。社会モデル実現のためには、環境調整ができる専門家との協業が不可欠。池田市では、学校OT（作業療法士）による先進的な実践も行われている。ＳＳＷ、ＳＣも含めた学校における専門職との協業体制を問う。

答 子どもへの指導と環境整備の両面を踏まえた支援により、子どもや保護者の困り感が解消されるよう、学校ＯＴ（作業療法士）を含めた巡回相談体制の充実に努めていく。

問2 学校施設の民間事業者の営利利用を含めて、スポーツ・文化活動に限らない幅広い視点から放課後の過ごし方を検討していく考えは。

答 放課後の過ごし方は子どもが主体的にデザインするべきものであり、それぞれの立場から検討を進めるべき課題。民間事業者の学校施設の利用は条例で制限されている。

❶おむつのサブスクについて
❷里親月間の取組について



笹村有理子（ささむらゆりこ）議員

大阪維新の会池田

問1 おむつのサブスクを導入している保育園での周知方法と、手ぶら登園の対象品目の拡張や保護者負担の費用補助の考えを問う。

答 公立保育所及び幼保連携型認定こども園では、おむつのサブスクを令和７年12月に本格導入し、保護者にチラシ等で周知し、来年度は保育施設入所ガイドにも掲載予定。私立園でも一部実施している。品目の拡張や費用補助は、事業者と連携しながら検討を進めており、保護者ニーズの把握も今後アンケート等を通じて行っていく。

問2 10月の里親月間における今年度の取組と、本市職員が里親制度を学ぶ機会について問う。

答 大阪府から委託を受けているNPO法人キーアセットと連携し、庁舎ロビーでのパネル展示や相談会、広告掲示等を通じて普及啓発に努めている。児童虐待防止研修を年１回開催しているほか、今年度は教職員向けの里親制度研修も実施する予定である。担当職員も子ども家庭センターや大阪府主催の研修に参加し、理解を深めている。

❶豊島野公園の撤去された遊具について



名村 研二郎（な むら けん じ ろう）
議員
未来はぐくむプロジェクト

問1 豊島野公園の遊具が撤去された経緯・理由について、夜間の騒音など不適切な利用により、周辺住民が負担を感じてこられたこと、市が段階的に対応してきたことは理解しているが、日中、適切に利用してきた子どもの遊び場まで失われた。子どもたちからは、「注意事項だらけの公園になっていること自体がおかしい」「残っている遊具もなくなるのではないか」と不安の声を聞いている。元の場所への設置は難しくても、公園内の住宅から比較的離れた場所への配置変更も含めて、利用者と近隣住民双方の意見を聞きながら、遊び場としての機能を確保する方法を検討する考えはないのか見解を問う。

答 公園をはじめとした遊び場については、その時々の流行や周辺の住環境により、要望や苦情の内容は変わっていくものと認識している。遊び場の機能の確保に向けては、リニューアル等のタイミングなどの機会を捉え、地域の声を聞きながら、ゾーニングなどの再検討を含め、地域のニーズに沿った公園となるよう努めていきたい。

❶五月山動物園の有料化に伴う料金設定と運営経費の考え方
❷ウォンバットの市外発信に係るKPIの設定
❸本市の学力レベルのPR



古川 裕倫（ふるかわ ひろのり）
議員
大阪維新の会池田

問1 有料化の検討に当たり、年間目標来園者数、減免対象などを踏まえた料金設定が必要。有料化にしたものの経費倒れでは意味がない。人件費・間接経費も考慮に入れて検討すべきと考えるが見解は。

答 整備前の来園者数である30万人をベースとして入園料収入や総経費を検証しながら、実態に見合った運営に努めていきたい。

問2 五月山動物園のウォンバットを強く市外に発信するようなプロモーションを推進するためにもKPIの設定は必要と考えるが、見解は。

答 KPIの設定は来園者数や市内の観光消費額を指標としており、市内の回遊性の向上、滞在時間の延長に寄与すると考えている。

問3 全国学力・学習状況調査等の結果等による本市の高い教育レベルを市外へ情報発信することで本市の魅力を伝えてはどうか。

答 本市教育の成果や特色を踏まえ、その魅力を効果的に発信するPRの在り方を研究していきたい。

❶旧学校施設等の新たな活用について
❷災害時の避難所環境と水の確保について



松本 康二郎（まつもと こうじろう）
議員
自民党保守の会

問1 旧学校施設等について、維持管理にとどめず、地域の価値を生み出す拠点として、民間事業者や学校法人、地域団体等と連携し、新たな活用を進める考えについて問う。

答 旧池田北高校については、池田泉州銀行、大阪府とともに官民連携地域金融力促進事業へ応募し採択された。今後、地域ニーズを把握し、将来像や民間投資が成立する官民連携手法、活用方法について検討していく。

問2 災害時の避難所機能強化に向け、蓄電池等の備蓄や、河川、ため池、学校プール等を活用した可搬型浄水設備の導入について、その可能性を問う。

答 本年度、地域未来交付金を活用し、蓄電池等の避難所用資器材の備蓄を進めている。また、学校など避難所までの水道管の耐震化を優先して進めるとともに、可搬型浄水設備等の導入についても、今後検討していく。

一般質問

❶市役所職員の笑顔で人間味のある温かさを
❷行政コンシェルジュで市民に寄り添う対応を
❸災害現場の教訓を生かし本市防災力の向上を



多田隆一（ただ りゅういち）
議員

公明党

問1 AIを中心とした社会構造の変化が進む中、人間味のある温かさが大切。市役所職員の笑顔と「人間力」を高めるために、「スピード・スマイル・親切」の3Sを全庁的なモットーにしてはどうか。

答 職員の笑顔は重要と考える。笑顔をはじめ、市民に寄り添った職員の育成に努める。モットーなどの手法は研究を重ねていく。

問2 市役所を訪れた市民に寄り添い、必要な窓口まで一緒に伴走しながら手続を支援する「行政コンシェルジュ」の実現を。

答 伴走型支援の有益性は理解しているが、経験豊富な人材の確保、その配置、運用方法の整理などが課題。今後、検討していきたい。

問3 私は先日、防災ボランティアとして熊本県宇城市を訪問してきた。実際に現場に行かなければ分からない課題も多いと実感した。本市職員の被災地派遣と、その経験・教訓の活用について問う。

答 八代市の住家被害認定調査業務に２名を派遣。被災地の実情を体感し、報告会で経験を共有することで災害対応能力の向上を図る。

❶五月山児童文化センターの建て替えについて
❷路線バスの運転士不足の解消に向けた取組について



下窄 明（しもさこ あきら）
議員

池田未来の会

問1 令和８年３月に策定した池田市公共施設再整備計画において、五月山児童文化センターは建て替えの方針となっている。建て替えに向けた庁内の検討体制について問う。

答 施設の複合化を含めた建て替えを前提に検討している。現在のセンターの機能を勘案しつつ、担当の教育委員会を主体としながら、庁内の連携体制を構築していきたい。

問2 路線バスの運転士不足によって、路線の維持が困難な状況が既に本市でも見られている。運転士不足を社会課題として捉え、他市で実施している住宅費補助など、運転士確保に向けた支援ができないか問う。

答 本市においても路線バスの運転士不足については、喫緊の課題であると認識している。ただ、金銭的な支援は構造上困難と考えているため、公共交通事業者との協議の場において、本市としてどのような取組ができるのか、意見を聞きながら検討していきたい。

❶認知症基本法制定における本市の施策展開について
❷頼れる身寄りのいない高齢者を支える地域の仕組みについて



守屋大道（もりや ひろみち）
議員

無所属

問1 認知症の本人が自らの経験や希望を発信し、その声を市民の理解や地域づくりにつなげる取組をどのように具体化していくのか。

答 認知症カフェやオレンジフェスタにおいて、認知症の本人や家族からご意見を聞き、想いを汲み取っている。今後も本人発信の支援を続けるとともに、新しい認知症観の市民への理解を促進していく。

問2 従来の日常生活自立支援事業を発展させる形で頼れる身寄りのいない高齢者等に対する日常生活支援に加え、入院・入所等の手続支援や死後事務支援を行う仕組みが位置づけられることになった。本市の日常生活自立支援事業の拡充や社協との連携強化の見解は。

答 池田市社会福祉協議会との情報共有や連携により、日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行を推進することで、日常生活自立支援事業の利用待機者の減少を図り、円滑なサービス利用を目指す。日常生活自立支援事業の拡充については、今回の社会福祉法の改正を踏まえ、池田市社会福祉協議会とともに、検討していく。

❶市内の認定マンション数と止水板の補助は
❷災害ボランティアの受入れ体制と事前登録は
❸防災庁設置を見据えた防災力強化は



安黒善雄（あぐろよしお）
議員

大阪維新の会池田

問1 マンション管理計画認定制度の認定を受けている市内のマンション数は。電源装置が地下にあるマンションでは、豪雨などに備え、浸水対策が重要であるが、止水板の設置など、市の補助の考えは。

答 管理計画認定マンションは、令和５年度の制度開始から13件認定した。豪雨時のマンションの地下浸水対策は、施設管理者が雨水出水浸水区域図等を活用し、平時から講じておくことが重要である。

問2 災害ボランティアの受入れ体制はどうなっているのか。また、ボランティアの募集に関して、事前登録などは行わないのか。

答 発災時に池田市社会福祉協議会と協議の上、災害ボランティアセンターを開設し受け入れる。事前登録制度は設けていない。

問3 今年中に防災庁が設置されるが、設置を見据えた本市の防災力強化は。特に、本市の防災上の弱点を定量的に把握しているのか。

答 大阪府の備蓄方針に基づき、数値目標を明確にし、防災備蓄倉庫を活用。多様な被災者のニーズに応じた備蓄が必要と考えている。

❶災害時の受援計画で誰一人として取り残さない支援体制の構築を
❷膵臓がん対策の拡充を



藤本昌宏（ふじもとまさひろ）
議員

公　明　党

問1 大規模災害が発生すると、自治体には、平時を大きく上回る業務が発生する。その際、他の自治体から応援職員を受け入れることになるが、応援職員の受入れ時の指揮命令系統は。

答 指揮命令系統については、発災時における池田市災害時受援計画の実効性を確保すべく、引き続き全庁的に訓練を実施し、組織全体の対応力の向上を図っていく。

問2 膵臓がんは、初期の段階では自覚症状が乏しく、発見された時にはすでに進行しているケースも少なくない。また、胃がんや大腸がんなどと比較しても、早期発見が難しいがんの一つと言われている。そこで、早期発見につなげるために広報誌やホームページ、健康相談、特定健診の機会などを活用し、膵臓がんのリスク因子や早期受診の重要性について、市民への啓発を強化しては。

答 広報誌等を活用し、引き続き、がん検診の受診勧奨に努めるとともに、膵臓がんについても今後検討する。

❶学校施設の老朽化対策について
❷新たな自主財源の確保について
❸近年の豪雨災害への対策について



坂上昭栄（さかがみしょうえい）
議員

池田未来の会

問1 これまで学校施設整備が計画どおり進まなかった要因と課題を踏まえ、新たな計画の実効性と財源をどう確保するのか問う。

答 事業費の高騰や技術職員配置などの課題を検証し、市長部局との連携、様々な手法の模索をしながら、実効性の確保に努める。

問2 市有財産や広告媒体、民間活力などを有効に活用し、新たな自主財源の確保に向け、今後どのような取組を進めていくのか問う。

答 市有財産や民間活力を積極的に活用した様々な手法について、他市の事例も参考にしながら、新たな自主財源の確保に取り組む。

問3 豪雨時に冠水のおそれがあるアンダーパスとして位置づけられている脇塚・空港両地下道の現在の安全対策と、冠水が想定される際の進入防止対策について問う。

答 両アンダーパスでは、排水ポンプを整備し、必要に応じて通行規制等により安全確保を図っており、予防的通行規制は国・府の動向を注視しながら検討していく。

一般質問

❶細河地域の鳥獣被害の現状と対策について
❷児童の登校時の校門開放について



なかた まさのり
中田正紀
議員
池田未来の会

問1 細河地域では、鹿による稲穂などの食害が深刻化している。府が実施する生息状況調査の結果について問う。また、府や猟友会と連携して、細河地域の個別調査を進める考えはあるか問う。

答 府の調査では、大阪北部の鹿の推定生息密度は令和４年以降やや減少傾向、イノシシの密度指標は令和２年以降おおむね低水準で推移している。今後も府・猟友会・地元農家の協力を得ながら、被害軽減に努めていきたい。

問2 登校時に校門を１か所に限定すると、閉鎖された校門を通り過ぎて歩く距離が長くなる児童・生徒もおり、車や自転車との接触など通学中の安全が懸念される。防犯と交通事故防止の両面から学校の立地や通学経路、見守り体制に応じて複数の校門を開放できないのか。

答 防犯上の理由から１か所に限定する学校が多いが、安全管理や見守り体制が整っている学校は２か所開放している。防犯や通学路の安全を考慮し、各校の実情に応じた対応をしていく。

❶大阪国際空港（伊丹空港）の軍事利用に道開く特定利用空港反対
❷高すぎる国民健康保険料負担軽減を



やまもと たけし
山元 建
議員
日本共産党

問1 政府は年内に伊丹空港を特定利用空港に指定しようとしている。同指定については、騒音問題、米軍の利用、有事の際の軍事標的化などが強く懸念されるが、国は住民とは協議しない姿勢。太平洋戦争中に爆撃を受け、米軍施設ともなった伊丹空港の軍事空港化に道開く指定に反対を貫くべきだ。

答 自衛隊の利用で有事の際の安全面を懸念する声があることは認識している。特定利用空港の指定について、大阪国際空港周辺都市対策協議会（10市協）として、住民への説明と慎重な判断を国に申し入れた。

問2 高すぎる国民健康保険料の負担軽減のため、保険料を引き下げ、均等割を廃止すべき。

答 低所得者層には保険料の軽減措置を実施している。国民健康保険料は府内統一保険料となっており、市独自の引下げや均等割の廃止は困難である。今後も国や府に軽減策を要望する。

❶女性支援法に基づく計画の策定と女性相談支援員等の配置について
❷福祉避難所の設備充実と災害時のスムーズな避難体制を



ふじわら みちこ
藤原美知子
議員
日本共産党

問1 女性支援法が令和６年に施行され、その目的・基本理念に女性の福祉、人権尊重や擁護、男女平等を明記し、当事者の意思の尊重が基本に据えられた。これに沿った市の基本計画の策定及び女性相談支援員等の配置状況を問う。

答 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律等に基づく市の計画を令和７年３月に策定。実施期間は10年間で、情勢の変化に対応するため、５年をめどに一部改訂を予定。女性相談支援員等は市役所に２名、ダイバーシティセンターに１名配置している。

問2 重度障害児・者を一度学校体育館に避難させ、福祉避難所に移動することは、最も移動が困難な市民に大きな負担を強いている。多世代交流センターを福祉避難所に指定し、拡充を図ってはどうか。

答 福祉避難所への直接避難は、それを必要としない人が避難することも想定され、かえって混乱を生むものと考える。多世代交流センターは指定緊急避難場所とする予定。

❶水道行政の動向について
❷市立池田病院の経営状況について



浜地慎一郎（はまち しんいちろう）
議員
自民党保守の会

問1 経年劣化が進む古江浄水場の機能について、将来にわたり継続的かつ安定的な水の供給を維持できるのか懸念している。大規模改修と広域水道企業団からの受水の比較における市民負担の増加率や事業運営上のコストは。また、将来の本市の水道行政の動向は。

答 適正規模での施設更新や企業団受水量増量のパターンなど複数のケースの財政シミュレーションを行い、市民負担への影響を比較する予定。近隣市との連携も含め、早急に方向性の検討を進めていく。

問2 令和７年度決算では約18億円の赤字、一般会計繰入額は８億円。令和８年度決算においても大幅な赤字決算が予想される。今後の病院経営として近隣市との広域連携や医療法人による指定管理、医療規模の縮小が考えられる。どの方向性を軸として病院経営を行うのか。

答 令和７年度決算では、物価高騰や人件費上昇に加え、控除対象外消費税の負担増が経営悪化を深刻化させている。池田病院の在り方を医療行政的観点から調整・模索しつつ、広域連携も検討する。

市議会だよりができるまで

11月１日号（９月定例会号）の場合



第１回 編集委員会
定例会初日の本会議の日に編集委員会を開催し、今回発行号のテーマや掲載内容、紙面構成、レイアウトなどの基本方針を決めます。


市議会だより編集特別委員会

９月初旬（９月定例会初日）

議員原稿の作成・提出
定例会終了後に、一般質問を行った議員が自ら原稿を作成します。
原稿には一般質問の内容とその回答を分かりやすくまとめ、期限までに議会事務局へ提出します。



９月下旬

第２回 編集委員会
提出された原稿を基に、編集委員会で内容を確認し、表記の統一や、より分かりやすい紙面となるよう校正を行います。必要に応じて、一般質問をした議員へ確認を行う場合もあります。



10月上旬

市の確認
編集委員会での校正後、市においても事実関係や表記の統一、誤字脱字の修正など、行政の立場から確認を行います。



10月中旬

第３回 編集委員会
市による確認内容を基に再度編集委員会で協議・校正を行います。最終的な紙面の内容やレイアウトを確認し、発行に向けた仕上げを行います。


最終確認

10月中旬

発行
印刷・製本を経て、完成した市議会だより11月１日号を市民の皆さんにお届けします。市議会の活動や議論の内容を、分かりやすくお伝えできるよう、編集委員一同、取り組んでいます。



11月１日

議会日誌

月	日	内容
8	28	各派代表者会議 議会運営委員会
9	3	市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会
	4	土木消防委員会
	7	厚生委員会
	8	文教病院委員会
	11	総務委員会
9	24	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
	25	市議会定例会 議会運営委員会
10	1	決算説明会
	6	市議会だより編集 特別委員会
	14	市議会だより編集 特別委員会

議会の予定

12月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。（定員あり）

月	日	曜日	内容
12	4	（金）	本会議
	8	（火）	委員会
	9	（水）	委員会
	10	（木）	委員会
	11	（金）	委員会
	22	（火）	本会議
	23	（水）	本会議

「声の市議会だより」を郵送で貸し出します

市内にお住まいの視覚障がいのある方（障がい者手帳をお持ちの方）に、「声の市議会だより」を無料で、郵送により貸し出しています。

お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは議会事務局
（電話）754・6170

献血・骨髄バンク登録推進活動等を実施します



大阪府赤十字血液センターが行う団体献血や周知活動及び骨髄バンク登録の推進活動に賛同し、本市議会も参加します。

皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



日時：令和８年12月５日（土）
午前10時～午後４時
※本市議会は正午から午後３時までの時間帯に参加します。
場所：ダイエー池田駅前店

やまばと

池田市役所前のイチョウの木も色づき始め、秋の深まりを感じる季節になりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

本号では、９月定例会で審議された主な内容や、議員それぞれの思いがこもった一般質問を掲載しています。10月には令和７年度の各会計決算の審査を各常任委員会で行い、税金が適正かつ効果的に使われたかを確認いたしました。次回定例会は12月に開会を予定しています。

市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴していただけます。お子さんも、ぜひ御一緒にお越しください。本会議は、市役所４階の受付で住所と氏名を御記入いただくだけで、傍聴席から御覧いただけます。

これからも、分かりやすく読みやすい紙面づくりに努めてまいります。御感想、御意見をお待ちしております。

市議会だより編集特別委員会

●委員長　坂上　昭栄　　●副委員長　園部　佳子
●委員　笹村有理子　藤本　昌宏　藤原美知子　小林　義典

いけだ市議会だより No.201
令和８年（2026年）11月１日発行

編集発行：池田市議会　https://www.city.ikeda.osaka.jp/
〒563-8666 大阪府池田市城南１丁目１番１号
TEL.072-754-6170　FAX.072-753-5414